

グアムの生活

グアム準州に行って驚いたことは玄関があり日本と同じ室内は土足禁止だということです。日本領事館の方や、私たちの、ホストファミリーは、日本の影響ではないかと言っていました。グアムの家は日本と違い、2階建てもありましたが、平屋のほうが、多く見られました。私が泊まらせてもらった家も平屋でした。また、学校は日本とも、アメリカ本土とも違い、小学校5年間中学校3年間高校4年間ということです。

玄関の様子↓



ホストファミリー

ホストファミリーは、出迎えの時に画用紙などを使い出迎えてくれました。ホストファミリーは、ホストグランドマザー、マザー、ファザー、シスターが2人、ブラザーが2人でした。ホストシスターのうち1人が、同い年でした。ホストマザーがキャビンテンドントなので、日本語を少し話せました。そのため、会話は英語がメインで時々日本語で話すことができました。ホストグランドマザーは、ハワイ生まれの、日本人でした。そのため、日本語をはなすことができました。けれど、日本が好きで、緑茶が家にあり毎日飲むことができました。私が行った前日から、学校が始まっており、グアムでは中学生の年齢の、シスターと、ブラザーの2人は、朝早くに出ていきました。またシスターのうち、1人は自分で自動車を運転して、学校に通っていました。

グアムの学校

私はホストファミリーと自由に過ごせる日に、1日だけ同い年のホストシスターの学校へ行きました。私が行った学校は、インターナショナルスクールだったので、日本人の女子が、2人いました。そこでは、生徒は、それぞれの教科書などを置いている、自分の教室のようなものがありました。そこから移動して各教室に行きました。ホストシスターの、教室は社会の教室でした。選択授業というものもありました。その中には、ウクレレ、コーラスなど音楽的なものもありました。私のホストシスターは、コンピューターの、授業をとっていました。この教室は体育館の上にありました。また、給食はなく、食堂で食べます。生徒はお弁当を持ってきたり買ったりしていました。支払いは現金か生徒証明書のようなものにチャージされているお金で支払うかでした。帰りは、それぞれ妹などと合流して、保護者が迎えに来ました。この間にカフェで、カフェラテなどの飲み物を買っている人もいました。私たちは、高校生のホストシスターが迎えに来てくれました。

発行者
奥田 弥希



学校の様子↓

感想

ホストファミリーは、とても優しいかたでした。そのため、グアムでは、自分が買ったかった物を、買えたりと、とても充実した時間を送ることができました。グアムは、海がきれいで、スーパーなどはとても色がカラフルだったり、ここに住みたいと思うほど、楽しかったです。けれど、同時に、日本のほうがよいと思うこともありました。